



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2022年3月期 決算説明会資料

2022年5月20日

株式会社ケアサービス
(東証スタンダード 2425)

【売上高】

■ 在宅介護事業

● デイサービス

新型コロナウイルス感染症拡大により、利用控えが継続。
また、オミクロン株の影響により第4四半期は大きく減少。

● 訪問系サービス（訪問入浴、訪問介護、訪問看護等）

通所系・施設系の補完需要により堅調に推移し増収。

■ シニア向け総合サービス事業

エンゼルケアは品質向上に努め、ニーズの高まりにより好調。

【営業利益】

在宅介護事業は、デイサービスの売上減少により大幅に減益。

シニア向け総合サービス事業は、エンゼルケアの売上好調により増益、
また、本社部門の統合再編による労務費等の削減等により、営業利益は前年並み。

【市場変更】

2022年1月5日、東京証券取引所市場第二部（現スタンダード市場）へ市場変更

2022年3月期 決算概要

- 売上高： 対前期比 3.2%増収
- 営業利益： 同 0.4%増益
- 経常利益： 同 2.4%増益
- 親会社株主に帰属する当期純利益： 同 0.7%増益

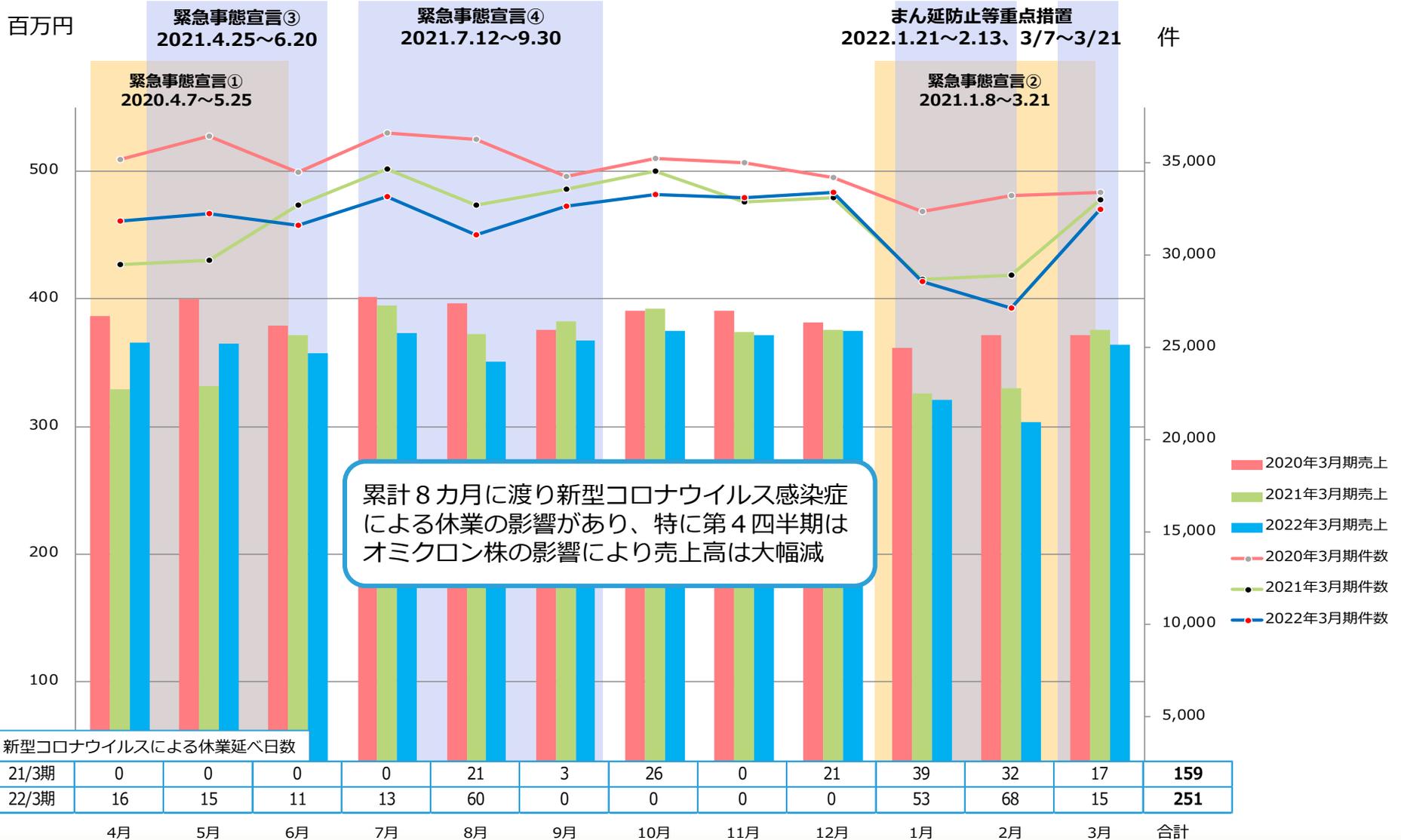
(百万円)	2021年3月期(連結)		2022年3月期(連結)		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	8,686	100.0%	8,965	100.0%	279	3.2%
売上総利益	1,141	13.1%	1,165	13.0%	24	2.1%
販売費及び一般管理費	836	9.6%	859	9.6%	22	2.7%
営業利益	304	3.5%	306	3.4%	1	0.4%
経常利益	319	3.7%	327	3.6%	7	2.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	190	2.2%	192	2.1%	1	0.7%

2022年3月期 事業別業績概要

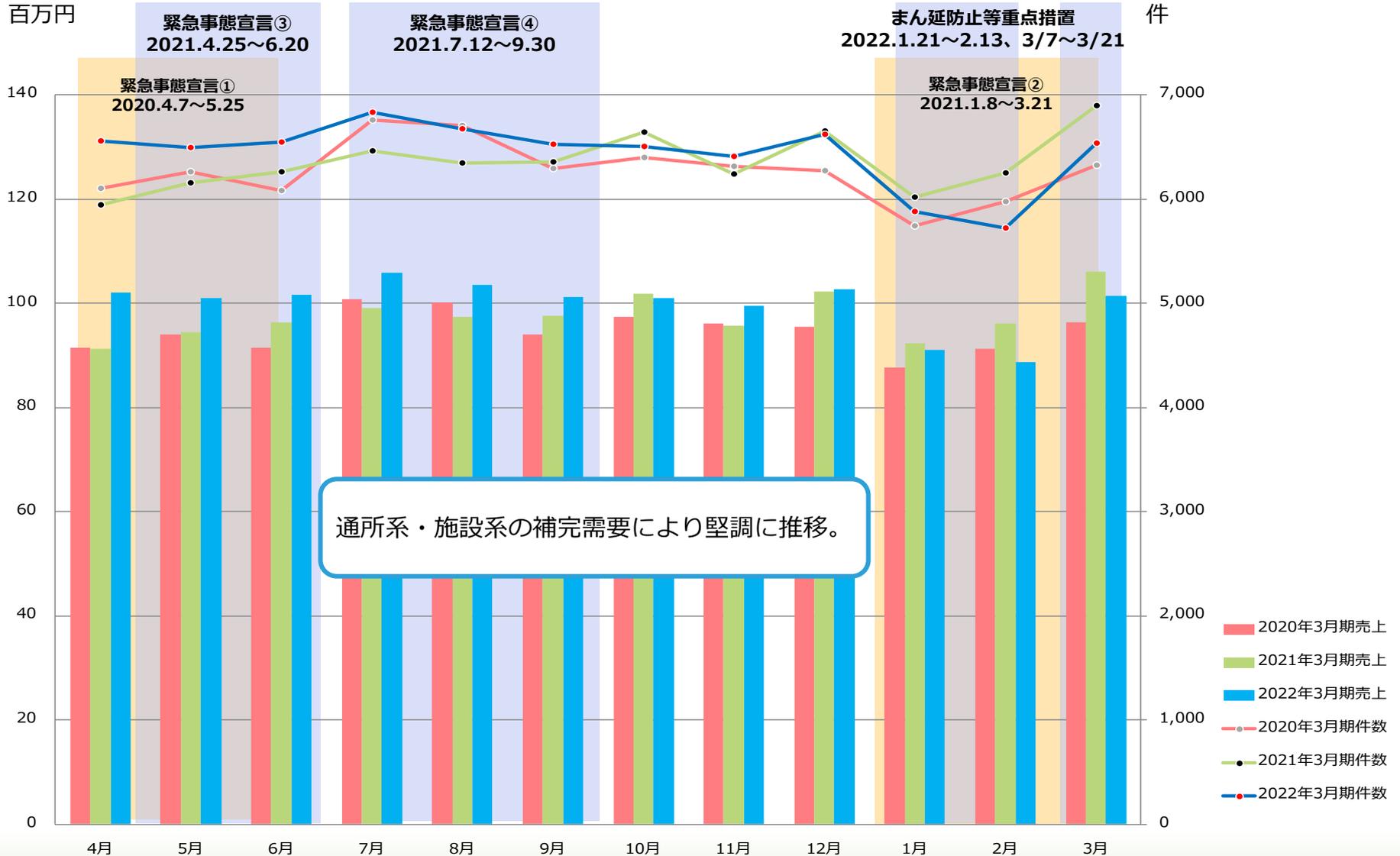
- 在宅介護サービス : 対前期比 1.3%増収 12.1%減益
- シニア向け総合サービス : 同 8.8%増収 18.4%増益

(百万円)	2021年3月期(連結)		2022年3月期(連結)		対前期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	8,686	100.0%	8,965	100.0%	279	3.2%
在宅介護サービス	6,476	74.6%	6,561	73.2%	85	1.3%
シニア向け総合サービス	2,210	25.4%	2,403	26.8%	193	8.8%
セグメント利益	1,041	12.0%	1,057	11.8%	16	1.6%
在宅介護サービス	573	8.9%	503	7.7%	△ 69	-12.1%
シニア向け総合サービス	467	21.2%	554	23.1%	86	18.4%
調整額	△ 736	-8.5%	△ 751	-8.4%	△ 15	—
営業利益	304	3.5%	306	3.4%	1	0.4%

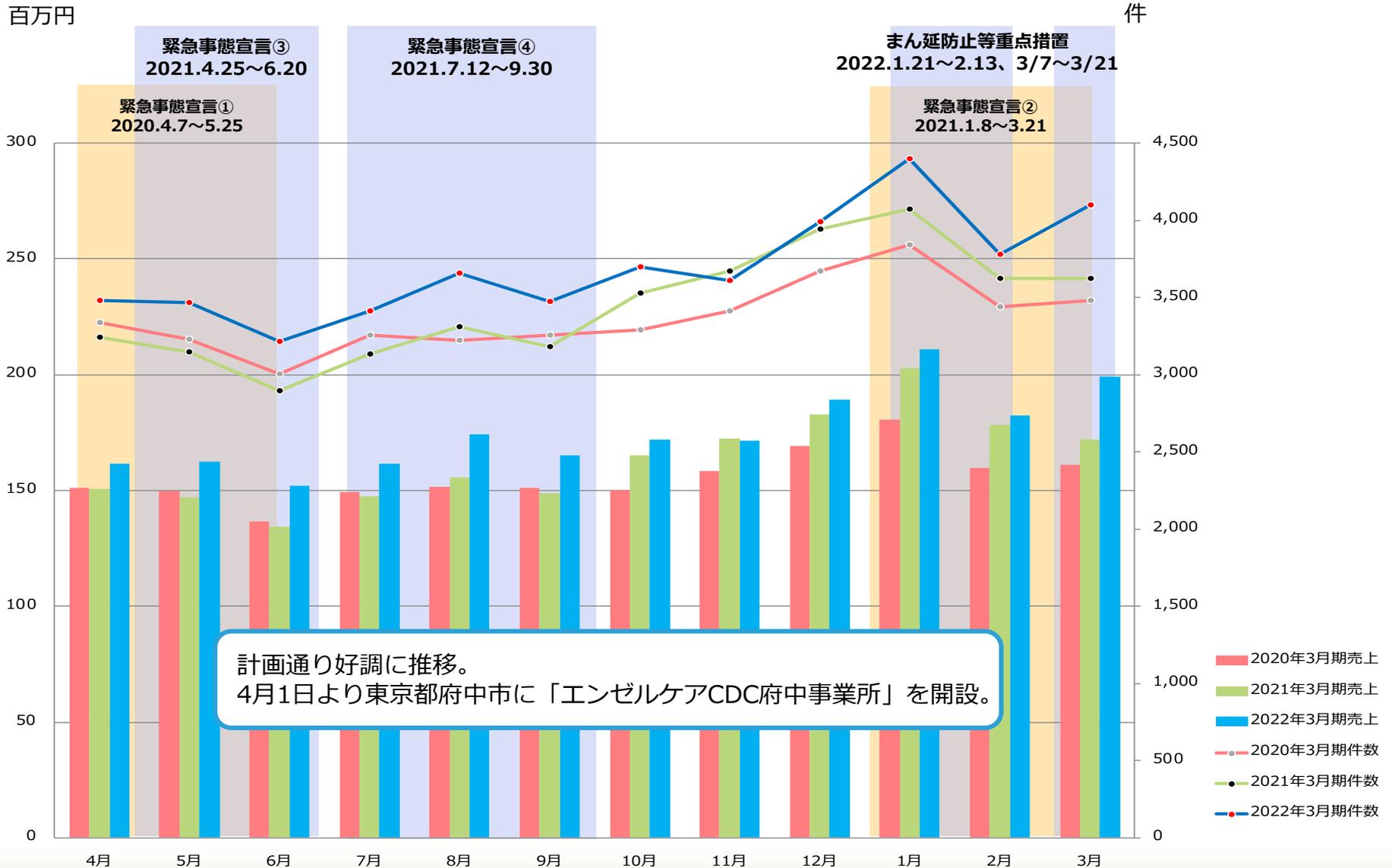
デイサービス（通所介護サービス）：売上高、件数の推移



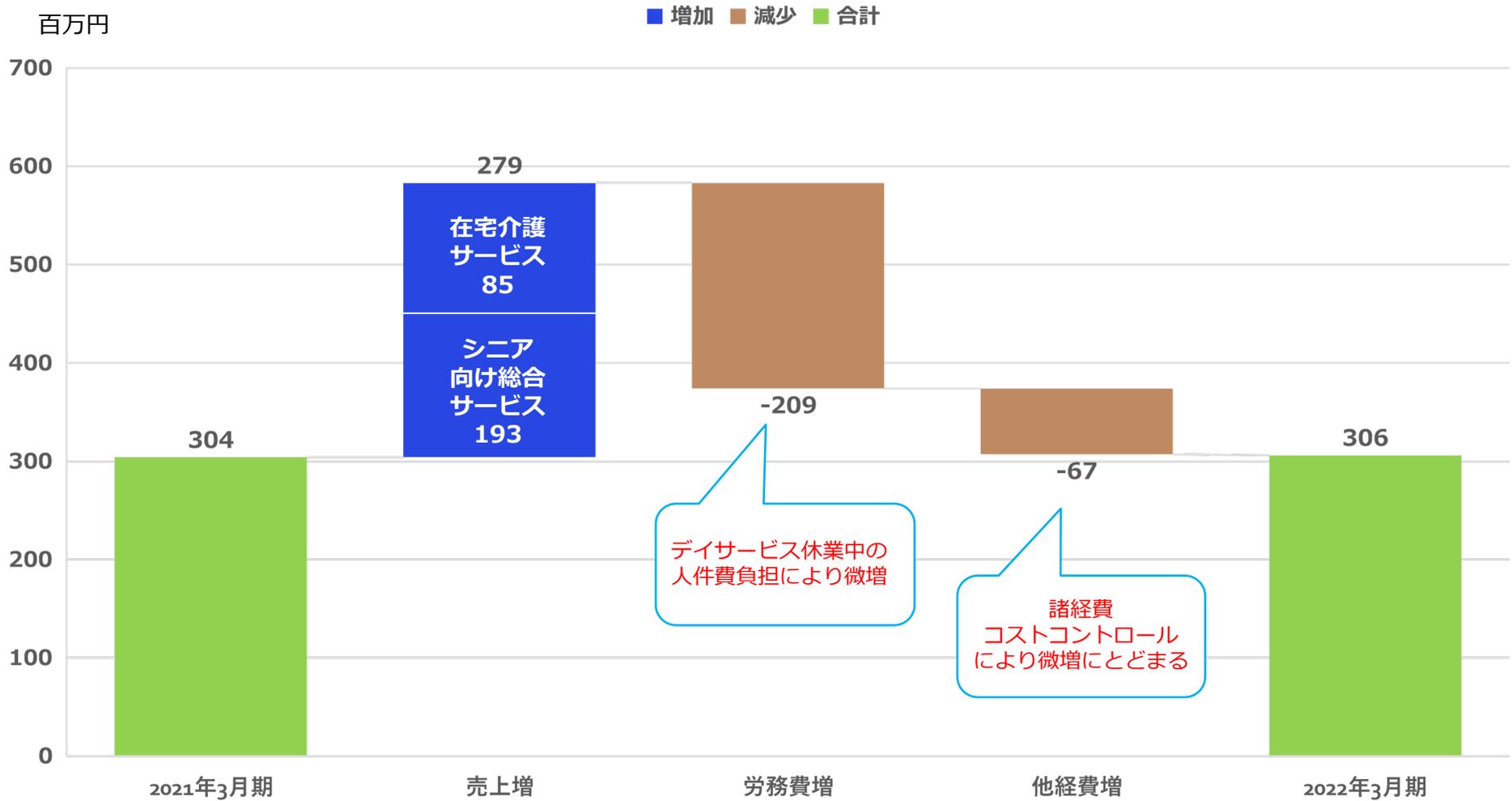
訪問入浴サービス：売上高、件数の推移



エンゼルケアサービス：売上高、件数の推移



営業利益の増減分析



2022年3月期 貸借対照表概要

(百万円)	2021年3月期末	2022年3月期末	増減額
	実績	実績	
流動資産	2,404	2,354	△50
固定資産	815	885	69
資産合計	3,220	3,239	19
流動負債	1,008	926	△82
固定負債	355	295	△59
負債合計	1,363	1,221	△141
株主資本	1,868	2,028	159
その他の包括利益累計額	△11	△10	1
純資産合計	1,857	2,018	160
負債・純資産合計	3,220	3,239	19
自己資本比率 (%)	57.7	62.3	+4.6
1株当たり純資産 (円)	489.58	532.03	42.45

固定資産増加の主な要因
・ 4事業所出店等による増加

流動負債減少の主な要因
・ 1年以内返済予定の長期借入金の減少49百万円

固定負債減少の主な要因
・ 長期借入金の減少62百万円

2022年3月期 キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)	2021年3月期	2022年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	340	337	△2
投資活動による キャッシュ・フロー	△48	△184	△135
財務活動による キャッシュ・フロー	△274	△191	83
現金及び現金同等物の 期末残高	969	930	△38

4事業所出店

上海福原護理服務有限公司（中国事業）

- エンゼルケアサービスのサービス品質向上の取り組みの結果、認知度が高まり、葬儀場パートナーから高評価を受け、依頼件数が増加。
- 2022年3月より上海市において、新型コロナウイルスの感染再拡大による都市封鎖のため、上海福原の事業が停止中。
⇒都市封鎖解除後、速やかに事業を再開できるような体制を整備。

株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル（人材事業）

- 上半期は前期同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者、求職者ともに動きが少なく、業績は低調。
- 下半期は感染者数減少により、求職増加を想定し、マーケティング強化および体制強化を実施し成約数は改善。

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	2021年3月期 期末				2022年3月期 期末				対前期比 増減数
	新規・ 増店	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	新規・ 増店	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	
在宅介護サービス事業	0	0	△ 2	79	3	△ 1	0	81	2
デイサービス（通所介護サービス）	0	0	△ 2	44	2	0	0	46	2
訪問入浴サービス	0	0	0	14	0	0	0	14	0
その他サービス	0	0	0	21	1	△ 1	0	21	0
シニア向け総合サービス事業	0	0	△ 1	24	1	0	0	25	1
子会社 - ヒューマンキャピタル	0	0	0	1	0	0	0	1	0
子会社 - 上海福原	0	0	0	4	0	0	0	4	0

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	2021年3月期 期末	2022年3月期 期末	対前期比 増減数
在宅介護サービス事業	1,103	1,110	7
シニア向け総合サービス事業	291	298	7
合計	1,394	1,408	14

※数値にはパート従業員を含む

2022年3月期 出店・移転統廃合

新規出店

- エンゼルケアCDC府中【2021年4月】
- デイサービスセンター大泉学園【2021年12月】
- デイサービスセンター調布柴崎【2021年12月】
- 居宅支援亀戸【2022年3月】

移転・統廃合

- 居宅支援ひだまり臨海を居宅支援ひだまり深川 と統合し「居宅支援木場」へ変更【2021年12月】



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2022年3月期 トピックス

2021年4月 「エンゼルケアCDC府中事業所」オープン

- 東京都府中市に、メイクや着付けを中心に行うCDCサービスの3拠点目となる「エンゼルケアCDC府中事業所」を開設。

2021年12月 デイサービスセンター2事業所同時オープン

- 東京都練馬区内に3事業所目となる「デイサービスセンター大泉学園」を開設。
- 東京都調布市に初の出店となる「デイサービスセンター調布柴崎」を開設。

2022年3月 「居宅支援 亀戸」オープン

- 東京都江東区内に2事業所目となる居宅介護支援事業所「居宅支援 亀戸」を開設。

当社デイサービスセンター、全44カ所において 「科学的介護推進体制加算」を取得

- 当社デイサービスをご利用のお客様情報（ADL値、栄養状態、口腔機能、認知症の状況等）の登録が完了し、10月より、**すべてのデイサービスセンターにおいて科学的介護推進体制加算を取得開始。**
- 利用者1名につき、月40単位を算定。



▲厚生労働省 LIFE科学的介護情報システム

科学的介護推進体制加算とは

- 介護サービス利用者へ実施したケア内容、利用者の状態などを厚生労働省の科学的介護情報システム（LIFE）にデータとして登録（提出）すると、そのデータを分析・評価した結果がフィードバックされるという仕組みで、フィードバックの内容を介護の現場で活用し、ケアの質の向上を図る取り組みを評価する加算。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

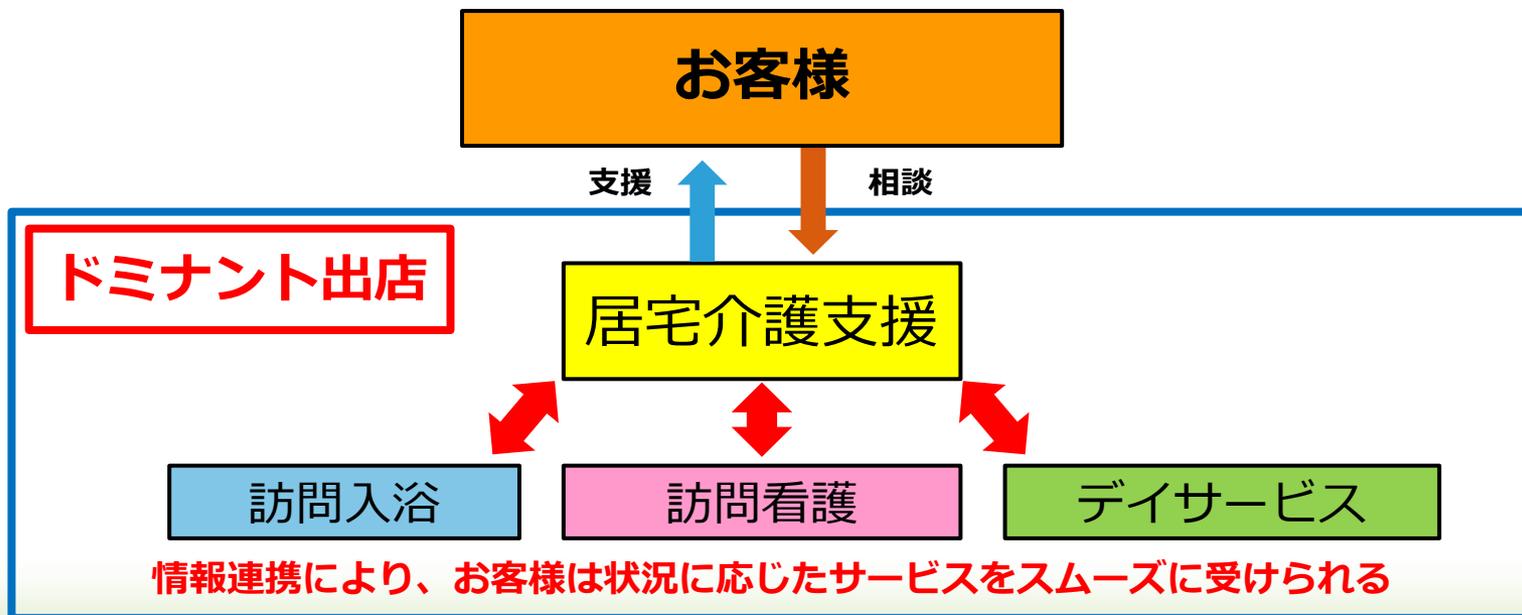
今期（2023年3月期）計画について

	1～2年	3～5年	6～10年
社会	Withコロナ継続 経済厳しい	2025年問題 高齢者>若者 明確に	インバウンド中心の経済 外国人労働者、移民の増加
業界	消耗戦 将来を見据え、人材確保が鍵	介護報酬の単価変動 競争激化、人材確保ピーク	高齢者が団塊の世代中心 アジアの介護ニーズが本格化
当社	<p>稼ぐ力をつける</p> <p>組織力・事業の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 既存事業の強化と再点検 ■ 採用・教育・定着 ■ 若手の底上げ・抜擢 ■ 事業所と本社の連携、事業部間の相乗効果 ■ 本社スリム化と育成 マルチタスク人材 プレイングマネジャー 	<p>大きく投資する</p> <p>業界ポジションの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ビジネスモデル確立 ■ M&A、業務提携 ■ 海外展開再開 ■ 既存事業の積極的拡大と再定義 (スクラップ&ビルド) ■ 新規事業の模索 既存事業の顧客基盤 課題を活かす 	<p>シニア向け 総合サービス業への進化</p> <p>ビジネスモデルの発展拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 介護保険外事業への展開 ■ 看護、医療、調剤との連携、融合 ■ 葬祭周辺業務多角化 ■ 海外事業比率増 (中国・アジア圏)

介護サービスのドミナント出店

- 居宅介護支援サービスを中心に、訪問型介護サービス、デイサービスを近隣エリアに集中出店
- 2022年4月、城東エリア、亀戸に集中出店

「デイサービスセンター亀戸」「訪問入浴亀戸」を併設事業所として開設。「居宅支援 亀戸(2022年3月開設)」を中心に、デイサービスや訪問入浴、訪問看護（既存店）の各介護サービス連携によるシナジーを確立。



エンゼルケアサービスの全国進出

- 東日本エリアから商圈を拡大⇒全国進出を開始
サービス品質向上とニーズの増加により、エンゼルケアサービスを新規エリアに展開する。

人材の採用・育成

- 今後のサービス別出店拡大に向けて、人材の採用数を大幅に増加
- サービス別インストラクターによる人材育成の強化。サービス品質の向上促進

DX推進

- スタッフの負担軽減、収益向上のためのDX推進
事業拡大への効率化実施のための、電子カルテ等の端末導入、各基幹システムの見直しを行う。

(百万円)	2022年3月期通期 実績 (連結)	2023年3月期通期 予想 (連結)	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	8,965	9,400	434	4.8%
在宅介護サービス事業	6,561			
シニア向け総合サービス事業	2,403			
営業利益	306	430	123	40.4%
経常利益	327	480	152	46.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	192	290	97	50.9%

新規事業所

【在宅介護サービス事業】

- デイサービス 2事業所開設 …2022年4月1日「デイサービスセンター亀戸」開設
- 訪問入浴サービス 1事業所開設 …2022年4月1日「訪問入浴亀戸」開設
- 居宅介護支援サービス 1事業所開設

【シニア向け総合サービス事業】

- エンゼルケアサービス 1事業所開設

⇒その他サービスにおいても、出店エリアとコストの条件が合えば出店を検討

男女ともに働きやすく、女性が能力を発揮しやすい職場環境を整備し、 「くるみん」「えるぼし」マークを取得

【くるみん】計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業が『子育てサポート企業』として、厚生労働大臣の認定で取得できるマーク



【えるぼし】『女性活躍に関する一定の基準』を満たした企業の中から、より優良な企業に与えられる厚生労働大臣認定のマーク

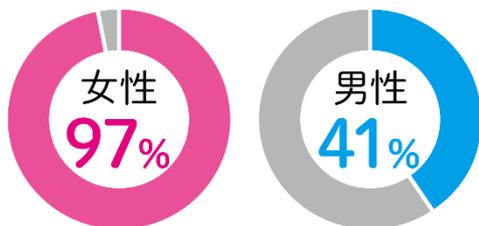


従業員男女比 女性59%：男性41%

育休取得の支援

- 短時間正社員制度
- 産休育休からの復職サポート

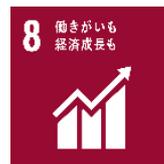
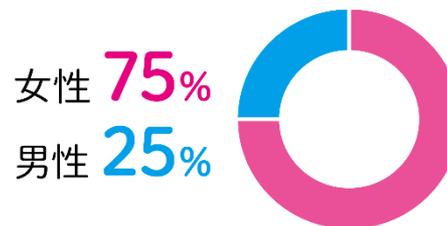
[育休取得率]



女性が働きやすい就労制度

- パートから正社員へ転換制度
- 再雇用制度

[各制度活用の男女比]



セグメント区分	所属サービス	子会社
<p>在宅介護サービス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービス ・ 訪問入浴 ・ 訪問介護 ・ 訪問看護 ・ 小規模多機能型居宅介護 ・ 居宅介護支援 ・ 福祉用具貸与・販売 ・ 配食サービス 	
<p>シニア向け 総合サービス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンゼルケア ・ クリーンサービス ・ シニア向け施設紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒューマンキャピタル ・ 上海福原

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス
MAIL:ir.info@care.co.jp
TEL 03-5753-1170